

“お花見”気分満喫して

玉野高生がマリンホーム訪問

お年寄りに演奏や踊り

老人保健施設・玉野マリンホーム（築港）で4日、玉野高生徒会主催による恒例の「お花見会」が開かれ、入所者、リハビリ利用者ら約100人が音楽や踊りで春の気分を満喫した。

2、3年生の約120人が訪問。会場となった食堂には、美術部が描いた満開の桜の絵が飾られ、玄関付近には華道部が手掛けた桜の生け花を展示し、春らんまんを演出。

箏曲部が「やぐらくらくら」「荒城の月」を情感豊かに弾いたほか、ダンス部が軽快なる抹茶と菓子の接待も音楽に合わせて息の合った踊りを披露。吹奏

部は「雪国」「高校三年生」などを演奏し、お年寄りには曲に合わせる歌を口ずさむなど喜



お年寄りを前に優雅な演奏を披露する玉野高の箏曲部員

楽部は「雪国」「高校三年生」などを演奏し、お年寄りには曲に合わせる歌を口ずさむなど喜

入所7年目の藤原貴 8年から毎年、ボランティア活動の一環で「お花見会」を開催して、今年で19年楽しみ。ダンスも音

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。